

【記入の方法について】

- 1 住所と氏名等を記入してください。
- 2 あなたの該当する申告区分により、下表から記入方法を選び記入してください。
- 3 ※事業所得に区分される助成金等については、全額「キ」欄の収入に含めてください。

申告 区分 欄	白 色 申 告 者		青 色 申 告 者	
	租 税 特 別 措 置 法 第 26 条 適 用 者	租 税 特 別 措 置 法 第 26 条 不 適 用 者	租 税 特 別 措 置 法 第 26 条 適 用 者	租 税 特 別 措 置 法 第 26 条 不 適 用 者
ア	「〇年分収支内訳書（一般用）」の「 <u>収入金額</u> 」欄の④の金額を記入してください。		「〇年分所得税青色申告決算書（一般用）」の「 <u>売上（収入）金額</u> 」欄の①の金額を記入してください。	
	＜医師・歯科医師で、「収支内訳書（青色申告決算書）付表《医師及び歯科医師用》」を作成された場合＞ 付表の「1. 収入金額の内訳」の表の <u>収入金額を合計した額</u> （ $C+D+E$ +雑収入）を記入してください。			
イ	「〇年分収支内訳書（一般用）」の「 <u>売上原価</u> 」欄の⑨と「 <u>経費</u> 」欄の⑬と「 <u>専従者控除</u> 」欄の⑳を合算した金額を記入してください。		「〇年分所得税青色申告決算書（一般用）」から <u>必要経費の金額</u> （ $6+32+42-37$ ）を記入してください。 青色申告特別控除額は必要経費に算入しないでください。	
	租税特別措置法第26条適用者は、「措置法差額」（「付表」の「3. 必要経費の内訳」の(4)の差額の額）を <u>加算</u> してください。		租税特別措置法第26条適用者は、必要経費に「措置法差額」（「付表」の「3. 必要経費の内訳」の(4)の差額の額）を <u>加算</u> してください。	
ウ	（ア－イ）の計算をして <u>その金額</u> を記入してください。		（ア－イ）の計算をして <u>その金額</u> を記入してください。	
エ	帳簿等により <u>社会保険診療等の収入金額</u> を記入してください。 ※事業所得に区分される助成金等は含めないでください。		帳簿等により <u>社会保険診療等の収入金額</u> を記入してください。 ※事業所得に区分される助成金等は含めないでください。	
	＜医師・歯科医師で、「収支内訳書（青色申告決算書）付表《医師及び歯科医師用》」を作成された場合＞ 付表の「1. 収入金額の内訳」の表の「 <u>社会保険診療報酬</u> 」の収入金額を合計した額（ $C+D$ ）を記入してください。			
キ	（ア－エ）の計算をして <u>その金額</u> を記入してください。		（ア－エ）の計算をして <u>その金額</u> を記入してください。	
オ	(別表1)により、社会保険診療等に係る必要経費を計算して <u>その金額</u> を記入してください。	(別表2)を参照してください。 ※別表2による計算が困難な場合は、収入割合に応じた按分率で経費を計算しても差し支えありません。	(別表1)により、社会保険診療等に係る必要経費を計算して <u>その金額</u> を記入してください。	(別表2)を参照してください。 ※別表2による計算が困難な場合は、収入割合に応じた按分率で経費を計算しても差し支えありません。
カ	(エ－オ)の計算をして <u>その金額</u> を記入してください。		(エ－オ)の計算をして <u>その金額</u> を記入してください。	
ク	(イ－オ)の計算をして <u>その金額</u> を記入してください。		(イ－オ)の計算をして <u>その金額</u> を記入してください。	
ケ	(キ－ク)の計算をして <u>その金額</u> を記入してください。		(キ－ク)の計算をして <u>その金額</u> を記入してください。	

（ 別 表 1 ）

租税特別措置法第26条の適用者の社会保険診療等に対する必要経費の算定方法	
社会保険診療等に係る収入金額の区分	社会保険診療等に係る必要経費算定の速算表
2, 500万円以下の場合	社会保険診療等に係る収入金額（エ）×72/100
3, 000万円 "	" ×70/100+ 500,000円
4, 000万円 "	" ×62/100+2,900,000円
5, 000万円 "	" ×57/100+4,900,000円

（ 別 表 2 ）

租税特別措置法第26条の不適用者の「オ」、「カ」、「ク」、「ケ」欄の記入方法		
経理 区分 欄	経理上必要経費が社会保険診療等と自由診療等に区分されている場合	経理上必要経費が社会保険診療等と自由診療等に区分されていない場合
ク	「イ」欄の金額を「オ」欄と「ク」欄に分けて記入してください。	<p>1 自由診療に係るカルテを抽出し、比較的<u>自由診療が多い</u>処置について、次の算式により平均換算率を求めてください。</p> <p style="text-align: center;">自由診療による処置等を社会保険診療等によるものとした場合の請求額 $\frac{\text{自由診療による請求額}}{\text{自由診療による請求額}} = \text{平均換算率}$ <small>小数点以下第3位まで</small></p> <p>2 「ク」欄には、次の算式により自由診療等に係る必要経費を計算してその金額を記入してください。</p> $\left[\text{イ} - \frac{\text{前年の事業税額}}{\text{前年の自由診療等に係る必要経費}} \right] \times \frac{\text{キ} \times \text{平均換算率}}{\text{エ} + (\text{キ} \times \text{平均換算率})} + \frac{\text{前年の事業税額}}{\text{前年の自由診療等に係る必要経費}}$
		（イ－ク）の計算をして <u>その金額</u> を記入してください。
オ	（イ－ク）の計算をして <u>その金額</u> を記入してください。	
カ	（エ－オ）の計算をして <u>その金額</u> を記入してください。	
ケ	（キ－ク）の計算をして <u>その金額</u> を記入してください。	